

当社の保安に対する基本方針

2023/2/28

ガスパル近畿は、ガスパルグループとしてLPガス事業で培ってきた保安の技術と、実践してきた人の力を強みに、これまでのワクを超えて挑戦を続けていきます。長引く新型コロナウイルス感染症や円安による価格高騰は社会に多大な影響をもたらしました。このような環境下であっても、お客さま、地域の皆さま、取引先さま、従業員とつながるステークホルダーの皆さまへ、安全、安心を通じて貢献できるエネルギー企業として保安方針を宣言します。

株式会社ガスパル近畿 代表取締役社長 鈴木 美都留

【消費者起因事故対策】

- 業務用厨房施設には、業務用換気警報器・CO警報器等を100%設置
- 安全装置（Siセンサー）を搭載したガスコンロの普及促進
- 業務用施設、高齢者、障がい者の方には、ガス使用に関する周知を年1回以上実施
- 未使用のヒューズガス栓には、ガス栓カバーを100%設置し誤開放に係る事故防止

【販売事業者起因事故対策】

- ガスメータ、調整器等の有効期限のあるガス機器を管理し、期限1カ月前までに交換
- 他工事起因のガス漏えい対策としてオーナーさま、管理会社等のご協力を頂き、他業者がガス配管付近で工事を行う場合には当社社員による現場立会を実施
- バルク告示検査対応に係るマニュアルや中期計画を作成し、確実に運用

【自然災害対策】

- 社員の安否確認システムの導入、販売エリアのハザードマップの更新、防災訓練等を行い災害に備えた体制を構築
- 供給物件すべてに、容器収納庫又は容器チェーン（ベルト）の2重掛けを設置し、容器の流出を防止
- 豪雪地帯及び特別豪雪地帯へのガスメータに補強プレートを設置し、雪害事故を防止

【保安基盤の整備】

- 研修センターにて保安技術の継承やキャリアに沿った研修を行い、常に高水準な保安業務体制の構築
- 新保安システム「GiP」を毎年バージョンアップさせ、保安業務の品質向上と業務効率化を実施
- 電磁的周知によるスマート保安の推進